
会長講演

10月16日(土) 13:20～14:00

会長講演

座長 藤川 敏 (藤川医院)

演題番号	演者	所属	演題
会長講演	みやまえ たかこ 宮前 多佳子	東京女子医科大学病院 膠原病リウマチ痛風セン ター小児リウマチ科	小児抗リン脂質抗体症候群の特徴と Extra-criteria manifestation

基調講演

10月16日(土) 15:30～16:30

基調講演

座長 宮前 多佳子 (東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター小児リウマチ科)

演題番号	演者	所属	演題
基調講演	はりがい まさよし 針谷 正祥	東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマ チ内科学分野	新時代を迎える膠原病・全身性自己免疫疾患の治療

男女共同参画委員会企画 教育講演

10月16日（土）16：45～17：45
生物の多様性と進化、均一社会への警鐘
座長 坂東 由紀（北里大学メディカルセンター）

演題番号	演者	所属	演題
教育講演	はせがわ まりこ 長谷川 真理子	総合研究大学院大学	生物多様性の大事さと人間の社会：生物進化から学ぶこと

Year in Review Clinical/Basics 2019-2021

10月15日（金）14：10～15：10
Year in Review Clinical/Basics 2019-2021
座長 山口 賢一（聖路加国際病院Immuno-Rheumatology Center）

2019/4/1～2021/3/31に出版された、Pediatric RheumatologyのIF (2.719) 以上の雑誌、Modern Rheumatologyに掲載された論文より、小児リウマチ学の進歩を理解する上で知るべき主要なものを基礎、臨床に分けて紹介し、2年間の世界の小児リウマチ学の総復習を行います。

演題番号	演者	所属	演題
Review-1	たけい しゅうじ 武井 修治	鹿児島大学大学院医歯学 総合研究科小児科	Year in review Clinical 2019-2021
Review-2	にしこもり りゅうた 西小森 隆太	久留米大学医学部小児科	Year in Review Basics 2019-2021

シンポジウム

10月16日（土）9：50～11：50

シンポジウム1

Guideline Watch

座長 稲毛 康司（一般財団法人慈愛病院、帝京科学大学）

小林 一郎（KKR札幌医療センター小児アレルギーリウマチセンター）

我々が日常的に目を通す診療ガイドライン（GL）について、その成り立ちや解釈を学ぶ機会はなかなかありません。正しい理解は、日常診療のみならず、GLに関する論文の理解や、GL作成に携わる場合においても不可欠です。GLをWatchできる頭脳を培うべく、基本的事項から主要疾患のGL、海外のGLの相違などについて網羅します。

演題番号	演者	所属	演題
SY1-1	いなも やすじ 稲毛 康司	一般財団法人慈愛病院	診療ガイドライン事始め。 診療ガイドラインを利用する前に知っておきたい事柄
SY1-2	さこ まゆみ 佐古 まゆみ	国立成育医療研究センター臨床研究センター研究推進部門	診療ガイドライン作成者の立場から、 診療ガイドラインの見方、読み方を考える
SY1-3	おおとも よしゆき 大友 義之	順天堂大学医学部附属練馬病院小児科	診療ガイドライン利用者の立場から、 臨床決断における診療ガイドラインの活用を考える
SY1-4	あかみね けいじ 赤峰 敬治	東京都立小児総合医療センター腎臓・リウマチ膠原病科	海外と日本の小児診療ガイドライン・手引きの特徴と相違 -若年性特発性関節炎-
SY1-5	こばやし いちろう 小林 一郎	KKR札幌医療センター 小児アレルギーリウマチセンター	若年性皮膚筋炎診療の手引き（2018年度版）と難治性疾患政策研究事業 多発性筋炎/皮膚筋炎研究班新ガイドライン
SY1-6	いのうえ ゆうざぶろう 井上 祐三朗	千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科	全身性エリテマトーデス診療ガイドライン2019と小児全身性エリテマトーデス診療の手引き（2018年度版）を読み解く

10月17日（日）9：15～11：15

シンポジウム2

血管炎

高安動脈炎全国疫学調査結果と Monogenic Vasculitis

座長 大西 秀典（岐阜大学大学院医学系研究科小児科学）

井澤 和司（京都大学医学部附属病院小児科）

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「難治性血管炎の医療水準・患者 QOL 向上に資する研究」班が行った高安動脈炎の全国疫学調査により、成人発症例と対比的に小児発症例の特徴を紹介し、自己炎症疾患のなかで血管炎の病態を示す疾患群についてその概要と既存の古典的血管炎症候群との鑑別について解説します。

演題番号	演者	所属	演題
SY2-1	こんだ なおこ 根田 直子	東京女子医科大学医学部 膠原病リウマチ内科学講座	大型血管炎の全国疫学調査
SY2-2	おおにし ひでのり 大西 秀典	岐阜大学大学院医学系研 究科小児科学	Monogenic VasculitisとしてのA20ハプロ不全症
SY2-3	にひら ひろし 仁平 寛士	京都大学大学院医学研究 科発達小児科学分野	アデノシンデアミナーゼ2（ADA2）欠損症
SY2-4	いざわ かずし 井澤 和司	京都大学医学部附属病院 小児科	Type I interferonopathy
SY2-5	きりの ようへい 桐野 洋平	横浜市立大学大学院医学 研究科幹細胞免疫制御内 科学	VEXAS症候群など骨髄異形成症候群と関連する 後天性自己炎症性疾患
SY2-6	むらかみ よしこ 村上 良子	大阪大学微生物病研究所	PIGT, PIGB 遺伝子変異による 発作性夜間ヘモグロビン尿症の自己炎症病態

PRAJ Cutting Edge

10月15日（金）16：15～17：15

PRAJ Cutting Edge 1

小児リウマチ性疾患におけるJAK阻害薬の可能性
座長 河島 尚志（東京医科大学病院小児科・思春期科）

Cutting Edgeシリーズは今まさに着目すべき小児リウマチ学のテーマを取り上げます。JAK阻害薬は本邦で関節リウマチに既に5剤が承認され、診療ガイドライン2020にも位置づけられていますが、小児リウマチ医が関わる疾患群での保険収載は立ち遅れています。各疾患の病態を鑑みた可能性について集約的な知見を共有します。

演題番号	演者	所属	演題
Cutting Edge1-1	おおにし ひでのり 大西 秀典	岐阜大学大学院医学系研究科小児科学	先天性免疫異常症におけるJAK阻害剤の適応と最近の話題
Cutting Edge1-2	しみず まさき 清水 正樹	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科小児地域成育医療学	小児リウマチ性疾患に対するJAK阻害薬の適応と可能性

10月16日（土）14：15～15：15

PRAJ Cutting Edge 2

小児リウマチ性疾患におけるジェネリック医薬品・バイオシミラー・適応外使用
座長 森 雅亮（聖マリアンナ医科大学病院リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

小児リウマチ医が携わる疾患の多くは公費負担の対象であるため、ジェネリックやバイオシミラーに対する知見が乏しい傾向にあります。これらは包括的なリウマチ医療や医療経済を理解する上で重要です。また小児リウマチ性疾患に使用したい主要薬剤のいくつかが適応外という問題に対し、現状を理解し今後への解決策を共有します。

演題番号	演者	所属	演題
Cutting Edge2-1	やまぐち けんいち 山口 賢一	聖路加国際病院Immuno-Rheumatology Center	小児リウマチ性疾患におけるジェネリック医薬品・バイオシミラー
Cutting Edge2-2	かねこ うたこ 金子 詩子	新潟大学医学部大学院医歯学総合研究科小児科学分野	小児リウマチ性疾患における薬剤の適応外使用の実態と課題

10月17日（日）12：45～13：45

PRAJ Cutting Edge 3

小児COVID-19関連多系統炎症性症候群 (MIS-C/PIMS)

座長 佐藤 智（埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科）

榎崎 秀彦（日本医科大学小児科、日本医科大学付属病院感染制御室）

本邦における小児のCOVID-19症例は、多くが無症状か軽症の経過を示していますが、一部に小児多系統炎症性症候群 (MIS-C/PIMS)の続発例が散見されています。同症は新しい疾患概念ですが、迅速な診断、適切な治療選択のための病態の把握が求められます。刻々とかわる流行状況と最新の知見をご紹介します。

演題番号	演者	所属	演題
Cutting Edge3-1	くつな さとし 忽那 賢志	大阪大学大学院医学系研究科感染制御学講座	COVID-19 アップデート
Cutting Edge3-2	ならぎ ひでひこ 榎崎 秀彦	日本医科大学小児科	小児COVID-19 Update
Cutting Edge3-3	さとう さとし 佐藤 智	埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科	小児COVID-19関連多系統炎症性症候群（MIS-C/PIMS）に関する管理・治療に関する話題

PRAJ Essential ～エキスパートになろう

10月16日（土）14：15～15：15

PRAJ Essential ～エキスパートになろう 1

若年性皮膚筋炎

座長 金城 紀子（琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座）

小児リウマチ学を極める意図で企画した“PRAJ Essential ～エキスパートになろう”シリーズのひとつです。若年性皮膚筋炎の質の高い診療に必要な国際的な疾患活動性の評価法や難治症例に対する治療の理解を解説します。また抗TIF-1 γ 抗体と抗NXP2抗体陽性の重症難治症例に対する長期管理の実際についても取り上げます。

演題番号	演者	所属	演題
Essential1	きし たかゆき 岸 崇之	東京女子医科大学病院 小児科	若年性皮膚筋炎-筋炎特異自己抗体による臨床像の特性とその管理の実際
	こばやし のりもと 小林 法元	長野赤十字病院小児科・ アレルギー科	

10月16日（土）14：15～15：15

PRAJ Essential ～エキスパートになろう 2

不明熱・反復性発熱への診断アプローチ

座長 山崎 崇志（東京医科大学小児科・思春期科学分野）

水田 麻雄（兵庫県立こども病院リウマチ科）

小児リウマチ医は不明熱の診断にも精通しなければなりません。数症例を異なる切り口で提示し、診断確定に向けどのタイミングでどの検査を行うか、基本的なアプローチを紹介します。鑑別のピットフォール、サイトカインプロファイルの診断への貢献度を踏まえ、小児リウマチ医としての不明熱診断のベストフローを構築します。

演題番号	演者	所属	演題
Essential2-1	やまざき たかし 山崎 崇志	東京医科大学 小児科・思春期科学分野	はじめに
Essential2-2	うえじま ようじ 上島 洋二	埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科	様々な発熱性疾患に対する画像診断方法
Essential2-3	もうり まりこ 毛利 万里子	東京大学医学部医学研究科 生殖・発達・加齢医学講座	明らかな高熱をどう診るか（稽留熱と弛張熱）
Essential2-4	やしろ まさと 八代 将登	岡山大学病院小児科	すっきりしない発熱をどう診るか（微熱と繰り返す発熱）

10月16日（土）16：45～17：45
 PRAJ Essential～エキスパートになろう3
 Medication Withdrawal in JIA

座長 今川 智之（神奈川県立こども医療センター感染免疫科）
 赤峰 敬治（東京都立小児総合医療センター腎臓・リウマチ膠原病科）

JIAの治療において、生物学的製剤を含めた急性期治療の指針は整備、統一されていますが、寛解達成後の治療の減量、中止の実際については指針がなく、各施設・個人の経験に基づいています。学会員へのアンケート調査の結果と海外での治療の進め方を概説し、JIA治療の出口戦略についてエキスパートオピニオンを紹介します。

演題番号	演者	所属	演題
Essential3	あかみね けいじ 赤峰 敬治	東京都立小児総合医療センター腎臓・リウマチ膠原病科	Medication Withdrawal in JIA
	えぼ と たくすけ 江波戸 孝輔	北里大学医学部小児科学	
	のざわ とも 野澤 智	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学	

10月17日（日）13：45～14：45
 PRAJ Essential～エキスパートになろう4
 シェーグレン症候群

座長 竹崎 俊一郎（北海道大学大学院医学研究院生殖・発達医学分野小児科学教室）

若年発症のシェーグレン症候群では、小児期には外分泌腺症状が顕在化せず経過することが知られています。本症における腺外症状は、不定愁訴と判断され診断の遅れをきたしうるものもあり、その詳細について理解を深め、また診断のピットフォールになりうる「抗Ro抗体症候群」という自己抗体を中心とした概念についても共有します。

演題番号	演者	所属	演題
Essential4-1	とみいた みなこ 富板 美奈子	国立病院機構下志津病院臨床研究部・小児アレルギー膠原病センター	早期にみつけてフォローしよう、小児期シェーグレン症候群
Essential4-2	いとう やすひこ 伊藤 保彦	日本医科大学大学院医学研究科小児・思春期医学	抗Ro抗体症候群という考え方

メディカルスタッフ育成企画

10月16日(土) 16:45～17:45
メディカルスタッフ育成企画
60分でわかる全職種のための小児リウマチ
座長 下条 直樹(千葉大学予防医学センター)

小児リウマチ医が関わる疾患の日常診療は小児リウマチ医のみでは成り立ちません。看護師、薬剤師などメディカルスタッフの方々、皮膚科・眼科・リハビリテーション科などの診療科、そして成人への移行のカウンターパートであるリウマチ内科・整形外科の先生方に小児リウマチ性疾患を集約的に知っていただく、本学術集会初めての企画です。

演題番号	演者	所属	演題
メディカル スタッフ	やまくち けんいち 山口 賢一	聖路加国際病院Immuno- Rheumatology Center	60分でわかる全職種のための小児リウマチ

JIA 研修会

10月16日(土) 10:00～11:50

JIA 研修会

座長 梅林 宏明 (宮城県立こども病院リウマチ・感染症科)

共催 ファイザー株式会社/ Bristol-Myers Squibb株式会社/小野薬品工業株式会社

演題番号	演者	所属	演題
JIA 研修会-1	あきおか しんじ 秋岡 親司	京都府立医科大学大学院 医学研究科小児科学	若年性特発性関節炎における TNF α 制御の位置づけと エタネルセプト治療の実際
JIA 研修会-2	いわた なおみ 岩田 直美	あいち小児保健医療総合 センター	JIA 治療におけるアバタセプトの位置づけ

ヒュミラ研修会

10月17日(日) 10:15～11:15

ヒュミラ研修会

小児自己免疫疾患 Up-to-Date

座長 佐藤 智 (埼玉県立小児医療センター感染免疫・アレルギー科)

共催 アッヴィ合同会社/エーザイ株式会社

演題番号	演者	所属	演題
ヒュミラ 研修会-1	たかせ ひろし 高瀬 博	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科眼科学	小児非感染性ぶどう膜炎に対するマネージメント
ヒュミラ 研修会-2	あらい かつひろ 新井 勝大	国立成育医療研究セン ター消化器科・小児炎症 性腸疾患センター	炎症性腸疾患に関する最新の話

イラリス研修会

10月15日（金）15：10～16：10

イラリス研修会

CAPS/PFS、sJIAにおけるカナキヌマブ有効性&安全性の知見

座長 清水 正樹（東京医科歯科大学小児科）

共催 ノバルティスファーマ株式会社

演題番号	演者	所属	演題
イラリス 研修会-1	いざわ かずし 井澤 和司	京都大学医学部附属病院 小児科	自己炎症性疾患に対するカナキヌマブ
イラリス 研修会-2	なかざし やすお 中岸 保夫	兵庫県立こども病院リウ マチ科・総合診療科	全身型若年性特発性関節炎

アクテムラ研修会

10月17日（日）12：30～13：30

アクテムラ研修会

座長 中野 直子（愛媛県立中央病院小児科）

岡本 奈美（大阪労災病院小児科）

共催 中外製薬株式会社

演題番号	演者	所属	演題
アクテムラ 研修会-1	なかの なおこ 中野 直子	愛媛県立中央病院小児科	小児における高安動脈炎に対するIL-6阻害療法の位置づけ
アクテムラ 研修会-2	おかもと なみ 岡本 奈美	大阪労災病院小児科	若年性特発性関節炎（JIA）における トシリズマブ治療の手引き

イブニングセミナー

10月15日（金）17：30～18：30

イブニングセミナー1

小児発症SLEの長期予後を考える：基礎と臨床から

座長 伊藤 保彦（日本医科大学 小児科学教室）

共催 旭化成ファーマ株式会社

演題番号	演者	所属	演題
ES1-1	みやけ さちこ 三宅 幸子	順天堂大学大学院医学部 免疫学	全身性エリテマトーデスの免疫異常
ES1-2	おかだ まさと 岡田 正人	聖路加国際病院Immuno Rheumatology Center	SLEにおけるステロイドスベアリング

10月15日（金）17：30～18：30

イブニングセミナー2

座長 中岸 保夫（兵庫県立こども病院 リウマチ科・総合診療科）

共催 中外製薬株式会社

演題番号	演者	所属	演題
ES2	ひらの とおる 平野 亨	西宮市立中央病院リウマ チ・膠原病内科	AIによるリウマチ評価 ～IL6阻害薬などの使い分けに生かせるか～

ランチョンセミナー

10月16日(土) 12:05～13:05

ランチョンセミナー1

座長 八角 高裕 (京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座 発達小児科学)

共催 アッヴィ合同会社/エーザイ株式会社

演題番号	演者	所属	演題
LS1	かわもと ひろし 河本 宏	京都大学ウイルス・再生 医科学研究所再生免疫学 分野	免疫学の基礎と最前線:自己免疫疾患 -がん免疫療法から新型コロナ感染症まで-

10月16日(土) 12:05～13:05

ランチョンセミナー2

座長 五十嵐 徹 (日本医科大学 小児科)

共催 ファイザー株式会社

演題番号	演者	所属	演題
LS2-1	いがらし とおる 五十嵐 徹	日本医科大学小児科	初めての関節超音波検査
LS2-2	いけだ けい 池田 啓	千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科	関節リウマチの分子標的薬治療における関節エコーの意義

10月17日（日）11：30～12：30

ランチョンセミナー3

座長 金子 詩子（新潟大学医学部小児科学教室）

共催 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

演題番号	演者	所属	演題
LS3	かわぐち やすし 川口 鎮司	東京女子医科大学医学部 内科学講座膠原病リウマ チ内科学分野	間質性肺疾患を合併した全身性強皮症の最新治療

10月17日（日）11：30～12：30

ランチョンセミナー4

座長 武井 修治（鹿児島大学名誉教授）

共催 ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

演題番号	演者	所属	演題
LS4	いとう しゅういち 伊藤 秀一	横浜市立大学大学院医学 研究科発生成育小児医療 学	作用機序と薬剤の特徴から考える、JIAの治療と管理

イブニングシンポジウム

10月16日（土）18：00～20：00

イブニングシンポジウム1

ループス腎炎を伴うSLEにおける治療戦略とベリムマブの位置づけ

座長 岩田 直美（あいち小児保健医療総合センター）

共催 グラクソ・スミスクライン株式会社

演題番号	演者	所属	演題
ESY1-1	かねこ かよこ 金子 佳代子	国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター母性内科	妊娠・出産などのライフイベントを考慮したSLE治療マネジメント ～トランジション・プレコンセプション外来の経験から～
ESY1-2	かつまた やすひろ 勝又 康弘	東京女子医科大学医学部内科学講座膠原病リウマチ内科学分野	ループス腎炎の治療Update～ベリムマブの位置づけ～

10月16日（土）18：00～20：00

イブニングシンポジウム2

移行支援 Updated 2021

座長 西山 進（倉敷成人病センター リウマチ膠原病センター）

宮前 多佳子（東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター 小児リウマチ科）

共催 あゆみ製薬株式会社

演題番号	演者	所属	演題
ESY2-1	にしやますすむ 西山 進	倉敷成人病センターリウマチ膠原病センター	JCR2021 移行支援シンポジウム 「小児リウマチ患者のための移行期におけるクリニカルクエスチョン」報告
ESY2-2	いのうえ ゆうざぶろう 井上 祐三朗	千葉県こども病院 アレルギー・膠原病科	小児リウマチ性疾患の移行支援ツールとOutcome 評価指標の確立
ESY2-3	うめばやし ひろあき 梅林 宏明	宮城県立こども病院 リウマチ・感染症科	小児リウマチ性疾患における成人移行支援の実態と今後の課題について
ESY2-4	まる みつえ 丸 光恵	兵庫県立大学看護学部小児看護学	成人移行期を支えるメディカルスタッフの役割：看護師の視点から
ESY2-5	まつい としひろ 松井 利浩	独立行政法人国立病院機構相模原病院リウマチ科	「関節リウマチ診療ガイドライン2020」と「メディカルスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド」にみる移行支援
ESY2-6	くぼた みつる 窪田 満	国立成育医療研究センター 総合診療部	成人移行支援コアガイドと今後の展望

スポンサードシンポジウム

10月17日（日）12：45～14：45

スポンサードシンポジウム

自己炎症疾患を紐解く

座長 八角 高裕（京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座 発達小児科学）

谷内江 昭宏（金沢大学 附属病院 医療安全管理部）

共催 ノバルティスファーマ株式会社

演題番号	演者	所属	演題
SSY-1	なかだ ひでとし 高田 英俊	筑波大学医学医療系小児科	家族性地中海熱に対するカナキヌマブPMS結果報告
SSY-2	みぎた きよし 右田 清志	福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科	パイリン関連自己炎症性疾患 (PAAD) FMF and beyond
SSY-3	やすみ たかひろ 八角 高裕	京都大学大学院医学研究科 発生発達医学講座発達小児科学	Pyrinバリエーションの機能解析とその解釈
SSY-4	やちえ あきひろ 谷内江 昭宏	金沢大学附属病院医療安全管理部	家族性地中海熱診断GL改訂について

若手優秀演題奨励賞候補演題 10月15日（金）第1会場

10月15日（金）18：45～20：05

若手優秀演題奨励賞候補演題

座長 西小森 隆太（久留米大学医学部小児科学講座）

宮前 多佳子（東京女子医科大学病院膠原病リウマチ痛風センター小児リウマチ科）

演題番号	演者	所属	演題
EX-1	あいだ ゆかり 合田 由香利	兵庫県立こども病院 リウマチ科	トシリズマブ投与中の全身型若年性特発性関節炎における病勢把握マーカーとしての血清インターロイキン-6の有用性の検討
EX-2	さとう ひろのり 佐藤 裕範	千葉大学大学院医学研究 院小児病態学	次世代プロテオミクスを用いた全身型若年性特発性関節炎（sJIA）患者血清における低発現タンパク群の解析
EX-3	こえぬま なおこ 肥沼 直子	東京女子医科大学 整形外科	当院における若年性特発性関節炎患者に対する整形外科手術の現状
EX-4	演題取り下げ		
EX-5	かわべ ともひろ 川邊 智宏	東京女子医科大学膠原病 リウマチ痛風センター 小児リウマチ科	乳児期発症高安動脈炎の自験例を通じた乳児血管炎と冠動脈病変の関連性の検討
EX-6	おおにし たくま 大西 卓磨	埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科	びまん性肺胞出血を契機に診断した顕微鏡的多発血管炎の小児例
EX-7	かぶらき よういちろう 鏑木 陽一郎	東京女子医科大学小児科	難治性の声門下狭窄を合併した多発血管炎性肉芽腫症の14歳女子例
EX-8	にし けんたろう 西 健太郎	国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科	リツキシマブが奏功した急速進行性間質性肺炎を合併した抗MDA5抗体陽性若年性皮膚筋炎の2歳女児例

一般演題1 10月15日（金）第1会場

10月15日（金）15：25～16：15

（症例）血管炎 その他

座長 大倉 有加（KKR札幌医療センター小児科）

坂東 由紀（北里大学メディカルセンター小児科）

演題番号	演者	所属	演題
O-1	はやかわ あきなり 早川 晶也	静岡県立こども病院 免疫アレルギー科	突然の窒息・CPAのため気管切開を行った 再発性多発軟骨炎の1例
O-2	おおはら あさみ 大原 亜沙実	あいち小児保健医療総合 センター感染免疫科	仙腸関節炎、慢性再発性多発性骨髄炎を合併した HLA-B52陽性肺動脈炎の1例
O-3	よしおか こうへい 吉岡 耕平	聖マリアンナ医科大学 リウマチ・膠原病・アレ ルギー内科	インフリキシマブが有効であった非典型Cogan症候群の1例
O-4	おおにし あい 大西 愛	長崎大学病院小児科	炎症性腸疾患との鑑別を要し、サラゾスルファピリジンが 奏功した単純性潰瘍（simple ulcer）の1例
O-5	きざわ としたか 木澤 敏毅	JCHO 札幌北辰病院小児科	反復性の顔面浮腫にて発症し、遺伝性血管性浮腫との 鑑別を要した若年性線維筋痛症の1例

一般演題2 10月15日（金）第2会場

10月15日（金）15：25～16：35

（症例）シェーグレン症候群

座長 鬼頭 敏幸（愛知学院大学薬学部疾患病態学講座）

山崎 和子（聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

演題番号	演者	所属	演題
O-6	えぼと たかすけ 江波戸 孝輔	北里大学医学部小児科	腺外病変による症状で発症し診断に難渋した シェーグレン症候群の1例
O-7	あらかき ゆうみ 荒木 優美	東京都立小児総合医療セ ンター総合診療科	不明熱を初発症状として診断に至った シェーグレン症候群の男児例
O-8	なかだ しょうご 仲田 昌吾	琉球大学大学院医学研究 科育成医学（小児科）講座	原発性シェーグレン症候群に菊池病を合併した1例
O-9	たかはし かずき 高橋 和樹	KKR札幌医療センター 小児科	菊池-藤本病発症後にシェーグレン症候群の診断に至った 1姉弟例
O-10	もとなが ゆうせい 元永 裕生	聖マリアンナ医科大学 病院リウマチ・膠原病・ アレルギー内科	IgG2欠損症を合併したシェーグレン症候群の女児例
O-11	やすおか けいこうへい 安岡 竜平	浜松医科大学附属病院 小児科	頸部リンパ節炎で再燃し、NMDA型GluR抗体陽性の 髄膜脳炎に進展した一次性シェーグレン症候群の小児例
O-12	にしかわ ひろき 西川 宏樹	奈良県総合医療センター 小児科	シェーグレン症候群に合併した自己免疫性肝炎に対して ステロイドパルス療法を施行した12歳女児例

一般演題3 10月15日(金)第2会場

10月15日(金)16:35~17:15

(症例) 関節型JIA その他

座長 謝花 幸祐 (医療法人東和会第一東和会病院小児科)

藤田 之彦 (あしかがの森足利病院院長)

演題番号	演者	所属	演題
O-13	はたの まほ 晶野 真帆	川口市立医療センター 小児科	多発する皮膚潰瘍を呈した microgeodic 病
O-14	おおしま あきら 大嶋 明	神奈川県立こども医療セ ンター感染免疫科	当科における少関節型若年性特発性関節炎の臨床経過
O-15	やまざき すずむ 山崎 晋	順天堂大学医学部附属順天 堂医院小児科・思春期科	若年性脊椎関節炎の治療経過中にクローン病と 骨髄異形成症候群を合併した1例
O-16	まるやま ゆうた 丸山 悠太	信州大学医学部小児医学 教室	同種造血幹細胞移植4年後に発症し、アダリムマブが 有効であったRF陰性多関節型若年性特発性関節炎の一例

一般演題4 10月15日(金)第3会場

10月15日(金)16:40~17:30

(症例) 血管炎1

座長 原 良紀 (国立病院機構横浜医療センター小児科)

山崎 雄一 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学分野)

演題番号	演者	所属	演題
O-17	まつむら おさむ 松村 治	兵庫県立こども病院 総合診療科	高安動脈炎の治療中に発熱と頻脈がみられた8か月女児
O-18	たかだ めぐみ 高田 めぐみ	愛仁会高槻病院小児科	Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) を 契機に診断に至った高安動脈炎の一例
O-19	なかむら みく 中村 実来	島根大学医学部小児科	大動脈峡部閉塞による心原性ショックで発症した 小児高安動脈炎の一例
O-20	こばやし あんな 小林 杏奈	山梨大学小児科	発熱なく急速に内頸動脈が閉塞した高安動脈炎の女児例
O-21	たなか えい 田中 英	新潟大学医歯学総合病院 小児科	重篤な心不全で発症し、 高安動脈炎による心筋障害が疑われた7歳女児例

一般演題5 10月16日(土) 第1会場

10月16日(土) 9:00～9:40

(研究) その他

座長 秋岡 親司 (京都府立医科大学小児科学教室)

河島 尚志 (東京医科大学小児科・思春期科学)

演題番号	演者	所属	演題
O-22	植木 将弘 <small>うえき まさひろ</small>	北海道大学病院小児科	下肢痛で発症しMRIで骨髄・筋に多発性/対照性異常高信号を認めたビタミンC欠乏症患者の病態解析： ビタミンCとIL-6過剰産生・Th17活性化の関係
O-23	柏戸 桃子 <small>かしわど ももこ</small>	聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科	成人科から見た思春期・若年成人期の小児期発症リウマチ性疾患患者
O-24	宮下 雄輔 <small>みやした ゆうすけ</small>	熊本大学病院小児科	新型コロナウイルスワクチン接種後の炎症応答、予防効果と関連するmicroRNAの探索
O-25	島袋 渡 <small>しまぶくろわたる</small>	琉球大学大学院医学研究科育成医学(小児科)講座	若年性皮膚筋炎の臨床的特徴・予後と筋炎関連抗体の検討

一般演題6 10月16日(土) 第2会場

10月16日(土) 9:00～10:00

(症例) SLE1 その他

座長 五十嵐 徹 (日本医科大学小児科)

今中 啓之 (社会医療法人童仁会池田病院)

演題番号	演者	所属	演題
O-26	矢野 由依 <small>やの ゆい</small>	京都市立病院小児科	組織球性壊死性リンパ節炎によるEBV再活性化に伴って円板状エリテマトーデスを発症した男児
O-27	林 祐子 <small>はやし ゆうこ</small>	聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病・アレルギー内科	ネフローゼ症候群、SLE様病態を呈し、ベリムマブを導入したりジン尿性蛋白不耐症の一例
O-28	金子 雅紀 <small>かねこ まさのり</small>	北里大学医学部小児科学	後天性TTPを初発症状としたSLEの2症例
O-29	河西 彩葉 <small>かわにし あやな</small>	浜松医科大学小児科	全身性エリテマトーデスの治療中に発症した血栓性微小血管症の女児例
O-30	佐藤 知実 <small>さとう ともみ</small>	近江八幡市立総合医療センター小児科	11番染色体異常に伴う精神運動発達遅滞により治療に難渋した全身性エリテマトーデスの1例
O-31	宮城 裕典 <small>みやぎ ゆうすけ</small>	久留米大学医学部小児科	SLEに蛋白漏出性胃腸症(PLE)を併発したLUPLEの1例

一般演題7 10月16日(土) 第3会場

10月16日(土) 9:00～9:50

(症例) sJIA その他

座長 今川 智之 (神奈川県立こども医療センター感染免疫科)

岡本 奈美 (独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災病院小児科)

演題番号	演者	所属	演題
O-32	おおた はるか 太田 悠佳	日本医科大学小児科	全身型若年性特発性関節炎を発症した21トリソミーの一例
O-33	かねこ しゅうや 金子 修也	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科発生発 達病態学	非定型皮疹を呈した全身型若年性特発性関節炎の一例
O-34	はまだ かずや 浜田 和弥	琉球大学大学院医学研究 科育成医学講座	マクロファージ活性化症候群 (MAS) と EBウイルス関連血球貪食症候群 (EB-VHAS) の 鑑別に苦慮した全身型若年性特発性関節炎 (sJIA) の2例
O-35	そうま けんた 相馬 健人	加古川中央市民病院 小児科	病初期に血清フェリチンの上昇を認めなかった 全身型若年性特発性関節炎の1例
O-36	ひろた ゆきこ 弘田 由紀子	滋賀医科大学医学部附属 病院小児科	小児リウマチ外来で帯状疱疹を来した7例の検討

一般演題8 10月16日(土) 第2会場

10月16日(土) 10:00～11:00

(症例) 血管炎2

座長 金城 紀子 (琉球大学大学院医学研究科育成医学 (小児科) 講座)

西村 謙一 (横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学)

演題番号	演者	所属	演題
O-37	もり しゅう 森 翔	聖マリアンナ医科大学病 院リウマチ・膠原病・ア レルギー内科	周期性発熱に続いて発症した大動脈炎、腎動脈狭窄に対して tocilizumabが著効した3歳男児例
O-38	きざわ としたか 木澤 敏毅	JCHO札幌北辰病院小児科	トシリズマブ加療中の高安動脈炎患者の 妊娠・出産を経験した1例
O-39	たなべ ゆうじろう 田辺 雄次郎	日本医科大学小児科	シェーグレン症候群に高安動脈炎を合併した一例
O-40	うえはら ゆう 上原 悠	近畿大学医学部小児科学 教室	筋膜炎脂肪織炎症候群と皮膚型結節性多発動脈炎との鑑別に 難渋している1男子例
O-41	たかぎ けんたろう 高木 健太郎	東京医科大学 小児科・思春期科学分野	急性脳症を合併した不全型川崎病の一例
O-42	つるが かずし 敦賀 和志	国立病院機構弘前病院 小児科	IgA血管炎再燃時に急性虫垂炎を合併し 保存的治療で改善した6歳男児例

一般演題9 10月16日(土) 第2会場

10月16日(土) 11:00～11:50

(研究) ベーチェット・自己炎症症候群

座長 伊藤 秀一 (横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学)

竹崎 俊一郎 (北海道大学大学院医学研究院生殖・発達医学分野小児科学教室)

演題番号	演者	所属	演題
O-43	うえじま ようじ 上島 洋二	埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科	慢性非細菌性骨髄炎/慢性再発性多発性骨髄炎20例の臨床像と治療成績の解析
O-44	まえだ ゆかこ 前田 由可子	京都大学大学院医学研究 科発達小児科学	本邦初の全国疫学調査により明らかとなった慢性再発性多発性骨髄炎(CRMO)の患者数と臨床像
O-45	はしもと くにお 橋本 邦生	長崎大学病院小児科	眼科から全身精査目的で紹介された小児非感染症ぶどう膜炎症例の検討
O-46	はっとり せいり 服部 成良	横浜市立大学大学院医学研 究科発生成育小児医療学	小児期発症ベーチェット病における治療抵抗例の検討
O-47	やまぐち けんいち 山口 賢一	聖路加国際病院Immuno- Rheumatology Center	小児ベーチェット病では診断時に臓器障害の種類が揃わず発熱を伴う傾向がある

一般演題10 10月17日(日) 第2会場

10月17日(日) 9:15～10:15

(症例) JDM

座長 小林 法元 (長野赤十字病院小児科・アレルギー科)

楢崎 秀彦 (日本医科大学小児科)

演題番号	演者	所属	演題
O-48	ながもり つねひさ 長森 恒久	旭川医科大学 小児科学講座	抗nclear matrix protein-2(NXP2)抗体陽性若年性皮膚筋炎における血清CXCL-10の推移
O-49	いらふ ひとし 伊良部 仁	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科生涯免 疫難病学講座	抗NXP-2抗体陽性若年性皮膚筋炎の1例
O-50	しんぼ あさみ 真保 麻実	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科発生成 達病態学分野	若年性皮膚筋炎の皮膚症状に対してヒドロキシクロロキンが有効であった2例
O-51	いとう なおひろ 伊藤 尚弘	福井大学医学部病態制御 学医学講座小児科学	多関節痛、血球減少のため全身性エリテマトーデスが疑われた抗MDA-5抗体陽性の若年性皮膚筋炎の一例
O-52	にしだ ゆたか 西田 豊	群馬大学大学院医学系研 究科小児科	皮下石灰化が診断の契機となった抗MDA-5抗体陽性若年性皮膚筋炎の一例
O-53	ふくい まだひろ 福井 貞弘	京都大学医学部附属病院 小児科	片側大量胸水貯留を契機に診断された抗MDA-5抗体陽性若年性皮膚筋炎の一例

一般演題11 10月17日（日）第3会場

10月17日（日）9：15～10：05

（研究）JIA/MAS

座長 大石 勉（社会福祉法人天童会秋津療育園園長）

小林 一郎（KKR札幌医療センター小児・アレルギーリウマチセンター）

演題番号	演者	所属	演題
O-54	にしむら けんいち 西村 謙一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学	寛解達成後にカナキヌマブを減量された全身型若年性特発性関節炎患者の実態
O-55	はやしべ れん 林 邊 廉	横浜市立大学大学院医学研究科発達成育小児医療学	全身型若年性特発性関節炎の長期経過における、systemic Juvenile Arthritis Disease Activity Score (sJADAS) の検討
O-56	しみず まさき 清水 正樹	若年性特発性関節炎を主とした小児リウマチ性疾患の診断基準・重症度分類の標準化とエビデンスに基づいたガイドラインの策定に関する研究班	全身型若年性特発性関節炎に合併したマクロファージ活性化症候群に対する治療～Dexamethasone palmitateの有効性～
O-57	みづた まお 水田 麻雄	金沢大学医薬保健研究域医学系小児科	サイトカイン持続注入による新規MASモデルマウスの確立 - MAS病態におけるIL-18/ IL-1 β の役割の検討 -
O-58	かみやま ゆうじ 神山 裕二	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学	若年性特発性関節炎患者の骨密度に関する実態調査

一般演題12 10月17日（日）第2会場

10月17日（日）10：15～11：15

（症例）自己炎症症候群

座長 松林 正（聖隷浜松病院小児科）

座長 山崎 崇志（東京医科大学小児科・思春期科学）

演題番号	演者	所属	演題
O-59	たなか たかゆき 田中 孝之	大津赤十字病院小児科	上下肢に生じたCRMO男児例の初診時溶骨性変化から骨形成に至る画像所見の経時的変化
O-60	なかじま こうじ 中島 光司	京都大学医学部附属病院小児科	発熱のみを主訴としたCNO/CRMOの一例
O-61	さとう こういちろう 佐藤 幸一郎	国立病院機構高崎総合医療センター小児科	ベーチェット病との鑑別に苦慮したADA2欠損症の1例
O-62	やまざき ゆういち 山崎 雄一	鹿児島大学病院小児科	カナキヌマブとインフリキシマブ併用療法中のクリオピリン関連周期熱症候群の1例
O-63	たかやま さき 高山 早紀	聖隷浜松病院小児科	新規の病因遺伝子変異を有したCOPA症候群の家族発症例の報告
O-64	かどわき とものり 門脇 朋範	あいち小児保健医療総合センター感染免疫科	持続炎症、慢性貧血、好中球減少、MRIで骨髄異常信号を呈したPAMI症候群の1例

一般演題13 10月17日（日）第3会場

10月17日（日）13：45～14：45

（症例）SLE2

座長 久保田 知洋（鹿児島市立病院小児科）

野間 剛（千葉西総合病院小児科）

演題番号	演者	所属	演題
O-65	すぎた ゆうこ 杉田 侑子	大阪医科薬科大学医学部 小児科	多彩な神経所見を伴った神経精神ループスの2症例
O-66	かねこ しゅうや 金子 修也	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科発生発 達病態学	めまい・難聴を初発症状とし多彩な臓器合併症を呈した 全身性エリテマトーデスの一例
O-67	おおの こうこ 大野 幸子	東京医科大学 小児科・思春期科学分野	早期よりベリムマブを使用した Silent lupus nephritis の女児例
O-68	ふじまる りか 藤丸 季可	大阪市立総合医療センター 小児総合診療科	コロナ禍のフレアアップにより末期腎不全に至った ループス腎炎の一例
O-69	かわぐち ただやす 川口 忠恭	日本大学医学部小児科学 系小児科学分野	腎静脈血栓症による無症候性肺血栓塞栓症を発症した 小児ループス腎炎の1女子例
O-70	かしわど ももこ 柏戸 桃子	聖マリアンナ医科大学病 院リウマチ・膠原病・ア レルギー内科	アトモキセチン塩酸塩とミドドリン塩酸塩の併用により 誘発された薬剤性レイノー現象